



平成 30 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 P C I ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 原口 直道  
(コード番号：3918 東証第一部)  
問合せ先 取締役経営企画本部長 井口 直裕  
(TEL. 03-6858-0530)

(訂正)「2018 年 9 月期 第 1 四半期決算説明資料」の一部訂正に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 6 日に公表いたしました「2018 年 9 月期 第 1 四半期決算説明資料」の記載内容に一部訂正すべき事項がございましたのでお知らせします。

1. 訂正の理由

当社は、平成 30 年 9 月期第 1 四半期連結会計期間より報告セグメントの区分変更を行いました。具体的な変更内容につきましては、次ページ<参考資料>をご参照ください。

また、当該変更を受け、平成 30 年 2 月 6 日に公表いたしました「2018 年 9 月期 第 1 四半期決算説明資料」につきましても同内容を反映し、すべて差し替えるものです。

2. 訂正の内容

当社グループの事業区分を、ITソリューション事業、IoT/IoEソリューション事業、半導体トータルソリューション事業と定め、平成 29 年 12 月に完全子会社とした株式会社リーフネットをIoT/IoEソリューション事業へ含めました。

当該変更により、平成 30 年 2 月 6 日に公表いたしました「2018 年 9 月期 第 1 四半期決算説明資料」につきましても同内容を反映し、すべて差し替えるものです。

詳細は添付の「2018 年 9 月期 第 1 四半期決算説明資料」をご参照ください。

# <参考資料> 事業区分の推移について

2016年9月期

2017年9月期

2018年9月期

情報サービス事業

ITソリューション事業

ITソリューション事業

エンベデッド  
ソリューション事業

エンベデッド  
ソリューション

エンベデッド  
ソリューション

ビジネス  
ソリューション事業

ビジネス  
ソリューション

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション事業

IoT/IoE  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション事業

半導体トータル  
ソリューション事業

半導体トータル  
ソリューション事業



## 2018年9月期 第1四半期決算説明資料

2018年2月6日

ステークホルダーの皆様へ

当社は、2018年2月6日に2018年9月期第1四半期決算を発表いたしました。**グループ再編投資（本社移転、M&A費用等）**や**内部体制の充実（AppGuard®事業部設置、グループ採用開始等）**を推進しながら概ね計画線の業績となりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と感謝しております。

当第1四半期のトピックスといたしましては、**株式会社リーフねっとの完全子会社化**がございました。当社グループの成長戦略の柱である**「IoT/IoEソリューション」事業でのシナジー**に加え、**「Connected World」への貢献を企図**しております。また、昨年取り扱いを開始いたしました**『最強そして究極のサイバーセキュリティ製品「AppGuard®」』**も引き続き多方面の事業会社様よりお問い合わせならびに、高評価を頂戴しております。

あらゆるモノがインターネットを介してつながる**「IoT/IoE社会 = Connected World」の到来を見据え**、現行のPCやサーバーへのエンドポイント・プロテクションに加え、**次世代機能である「TRUSTICA」を取り入れる**ことで、自動走行・自動運転を始めとした車同志あるいは機械同志が繋がる**「Connected World」におけるセキュリティ強化**まで、**当社グループがリード**してまいりたいと考えております。

当社グループは、これからも**「安心・安全・豊かな社会」**を実現すべく、**「IoT/IoE社会 = Connected World」**、**「自動走行・自動運転・Connected Car」**、**「デジタルサイネージ」**、**「VR/AR」**、**「AI」**、**「ロボット」**等のキーワードに**「M&A戦略」**を加え、グループの拡大を図り、皆様のご期待にお応えしてまいります。PCIホールディングス株式会社  
引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。 代表取締役社長

原口直道

※本資料は、2018年2月13日に適時開示により訂正した版となっております。



## 1. 既存事業の好業績に加え、M&Aの寄与により前期実績を大幅に上回る売上高予想 ⇒ P5

<2016/9 連結売上高>

通期実績：8,504百万円

(前期比8.3%増)

<2017/9 連結売上高>

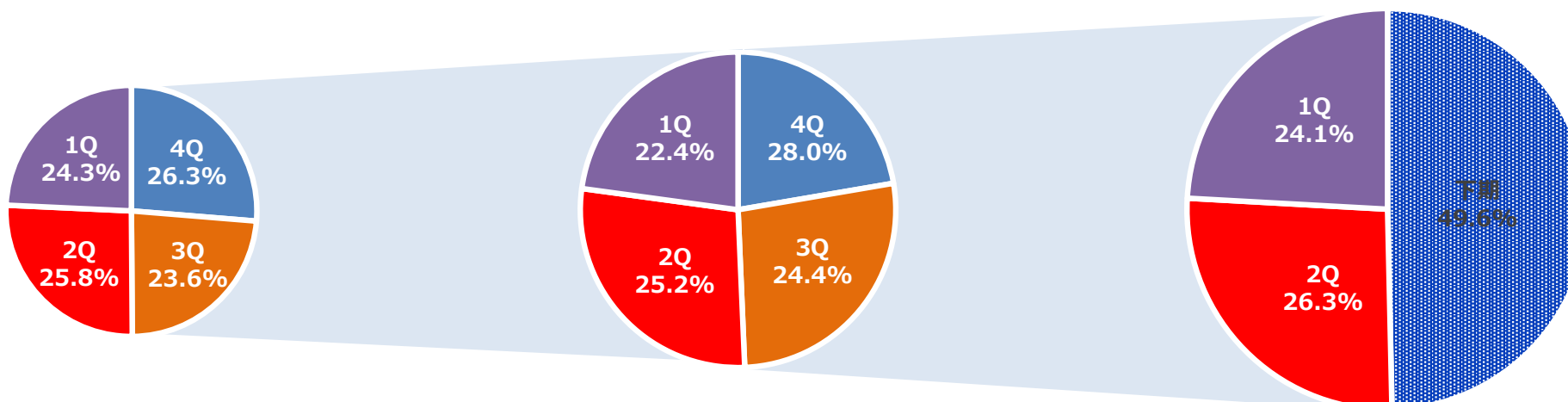
通期実績：11,397百万円

(前期比34.0%増)

<2018/9 連結売上高>

通期予想：13,300百万円

(前期比16.7%増)

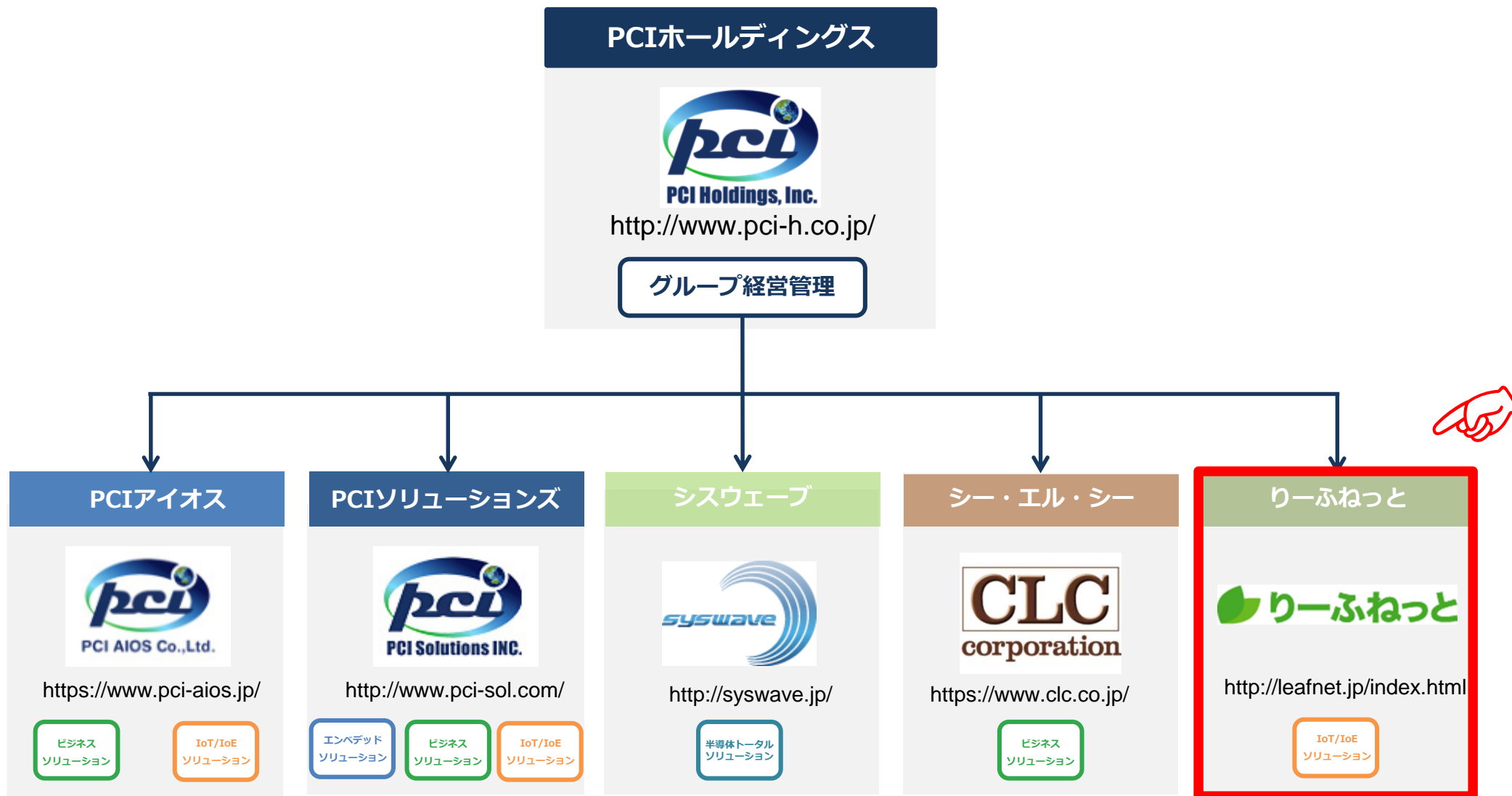


## 2. 引き続き「安心・安全・豊かな社会」の実現と、次世代技術の創出に向けた研究開発にも注力 ⇒ P11~

- ・ 車車間通信を可能にする「V2X」
- ・ コミュニケーションツール「A-ya」、AR/VRを活用したエンタテインメントアプリ「こことろ」
- ・ 情報セキュリティ分野への取り組み「AppGuard®」



## 2017年12月13日 株式会社リーふねっとを完全子会社化



1. 決算概要	4 ページ
2. 重点施策	11 ページ
3. 中期ターゲットと株主還元方針	17 ページ
4. 過年度実績	20 ページ
5. 参考資料	23 ページ

証券コード 3918  
東証一部上場

## PCIホールディングス株式会社

### PCIグループ

- PCIソリューションズ株式会社
- PCIアイオス株式会社
- 株式会社シスウェブ
- 株式会社シー・エル・シー
- 株式会社リーふねっと



# 1. 決算概要 (<http://pci-h.net/>)



(百万円)	18年9月期 (計画)						17年9月期 (実績)
	上期	対前期比	下期	対前期比	通期	対前期比	
売上高	6,700	+1,277(+23.6%)	6,600	+624(+10.5%)	13,300	+1,902(+16.7%)	11,397
売上総利益	1,828	+503(+38.1%)	1,654	+278(+20.3%)	3,482	+782(+29.0%)	2,699
(売上総利益率)	27.3%	+2.9pt	25.1%	+2.1pt	26.2%	+2.5pt	23.7%
営業利益	443	+5(+1.2%)	277	▲2(▲0.9%)	720	+2(+0.4%)	717
(営業利益率)	6.6%	▲1.5pt	4.2%	▲0.5pt	5.4%	▲0.9pt	6.3%
経常利益	446	+5(+1.2%)	274	▲11(▲4.0%)	720	▲6(▲0.8%)	726
(経常利益率)	6.7%	▲1.4pt	4.2%	▲0.6pt	5.4%	▲1.0pt	6.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	326	+39(+13.7%)	177	+13(+8.0%)	503	+52(+11.6%)	450
(当期純利益率)	4.9%	▲0.4pt	2.7%	▲0.0pt	3.8%	▲0.2pt	4.0%
DPS (円)	-	-	-	-	50円	±0(±0.0%)	50円
配当性向 (%)	-	-	-	-	37.6%	▲4.1pt	41.7%
EPS (円)	80.28円	+2.21(+2.8%)	46.82円	▲1.08 (▲2.6)	121.06円	+1.13 (+0.9)	119.93円

## Tips!

計画のPOINT :

- 1) M&A実施企業の通期寄与 (売上高の成長、季節変動の影響拡大)
- 2) 移転に伴うコスト (運送等費用、家賃上昇、設備等減価償却費)
- 3) 次期を見越した先行投資 (グループ会社の拠点集約、先端技術の研究開発、積極的な人財採用)





# 2018年9月期 第1四半期決算業績サマリー



**売上高**：既存事業の順調な成長及び昨年子会社化した事業会社2社の寄与により、売上高は前年同期比25.7%増と2桁増収を達成した。

**売上総利益**：好調な売上高成長に伴い、組織構成変革の影響（M&Aによる子会社化、売上総利益が前年同期比18.3%増（売上総利益率は-1.5pt）となった。

**営業利益**：M & A費用、本社移転関連費用、人材の適正配置（新規事業、採用）へ戦略的に投資。さらに、先端技術の習得、「IoT/IoE社会 = Connected World」への貢献を見据えた開発を継続実施。

(百万円)	17年9月期 第1半期 実績	18年9月期 (計画)			通期計画 進捗率	
		第1四半期 実績	前年同期比増減	上期計画		通期計画
売上高	2,554	3,210	25.7%	6,700	13,300	24.1%
売上総利益	633	749	18.3%	1,828	3,482	21.5%
(売上総利益率)	24.8%	23.3%	(-1.5pt)	27.3%	26.2%	-
営業利益	222	60	-72.7%	443	720	8.5%
(営業利益率)	8.7%	1.9%	(-6.8pt)	6.6%	5.4%	-
経常利益	223	80	-64.0%	446	720	11.2%
(経常利益率)	8.7%	2.5%	(-6.2pt)	6.7%	5.4%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	140	158	12.8%	326	503	31.6%
(当期純利益率)	5.5%	4.9%	(-0.6pt)	4.9%	3.8%	-
EPS	37.48円	40.93円	-	80.28円	121.06円	-



## エンベデッドソリューション

～前年に引き続き、好調に推移～

- 高度な技術を要する**エンベデッド技術者育成**に努めると共に、車載情報系案件からより参入障壁の高い**車載制御系案件の受注拡大**を企図。
- **安全運転支援システムを搭載したスマートカー**開発関連案件が引き続き好調に推移し、既存顧客からの安定した引き合いが継続。
- **車載系 ECU 開発**においてモデルベース開発案件や AUTOSAR 開発案件が拡大、**継続営業と自動車分野が好調**。

## ビジネスソリューション

～BP強化で事業規模が拡大～

- ビジネスパートナーとの**更なるアライアンス強化**、及び戦略的な商流の切り替え促進に取り組むことで、**多岐にわたる顧客需要**に応え、既存取引先との深耕拡大、新規顧客の開拓に注力。
- 企業向けソフトウェア開発では、**金融機関向け案件及び Salesforce 関連案件が好調**に推移。
- 前連結会計年度に子会社化した株式会社シー・エル・シーが**金融系顧客の IT 基盤の統合・再構築に向けた投資増加需要を取り込み**、売上に貢献。

## IoT / IoE ソリューション

～自動車向け、エネルギー業界向けは好調に推移～

- **モバイル分野におけるスマートフォンやタブレット端末と、各種デバイスや地域スポットに設置された各種センサーとの情報連携機能の開発案件受注**に注力。
- 建設機械業界における「**インダストリアル IoT**」への**取り組み**を背景に、当社グループが得意とする通信制御技術をコア技術とした**重機・建機分野案件が堅調に推移**。
- **Inspiration 株式会社の全株式を売却**したこと等の影響から前年同期比減少。

## 半導体トータルソリューション事業

～主要顧客からの引き合いが好調に推移～

- **EV（電気自動車）や自動運転車向け及び IoT 向け半導体需要の増加**による国内外半導体市況の好調を背景に主要顧客からの継続的な受注。
- **グループ内協業**による画像処理ファームウェアの開発案件や評価ボード開発案件等の**新規顧客を獲得**。
- テストセンター案件の受注が増加する等、**総じて好調に推移し、積極的な研究開発投資**を実施。

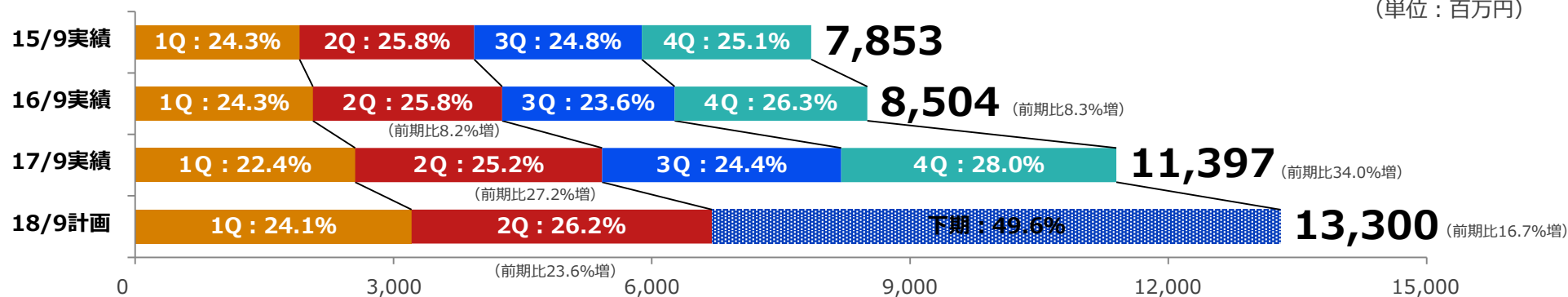


# 業績推移 (サマリー)

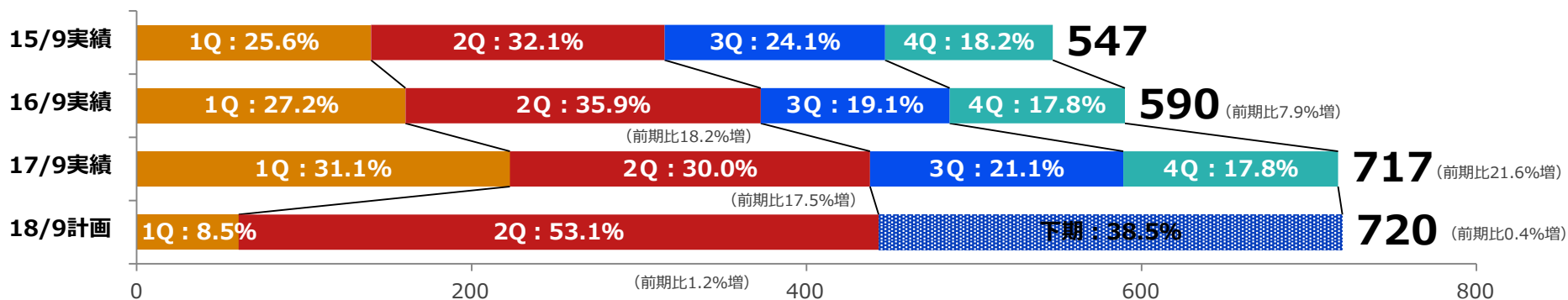


(単位：百万円)

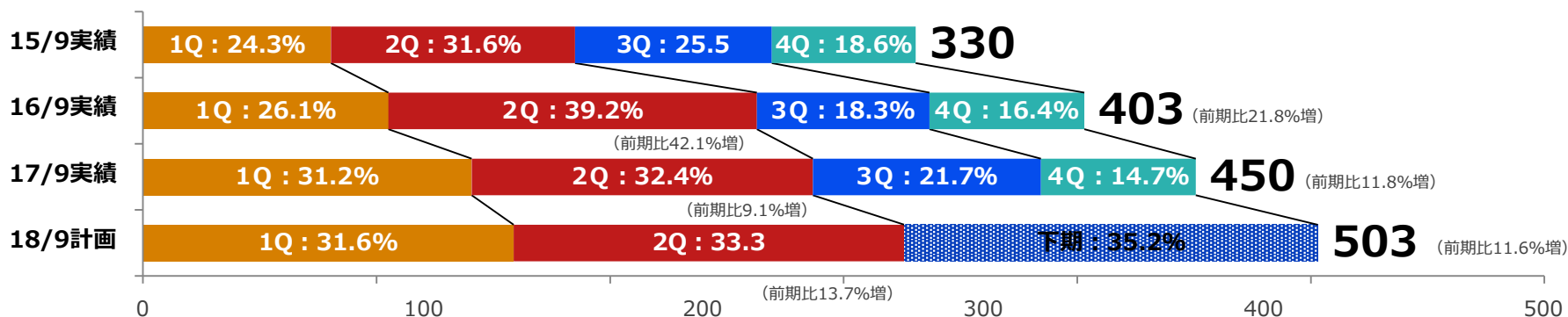
## 売上高



## 営業利益



## 当期純利益



# 連結損益計算書



2017年9月期

2018年9月期

(百万円)	1Q	上期	通期	1Q	上期計画	通期計画
<b>売上高</b>	<b>2,554</b>	<b>5,422</b>	<b>11,397</b>	<b>3,210</b>	<b>6,700</b>	<b>13,300</b>
エンベデッドソリューション	977	2,054	4,305	1,160	-	-
ビジネスソリューション	1,058	2,200	4,814	1,519	-	-
IoT / IoE ソリューション	192	409	703	86	-	-
半導体トータルソリューション	325	758	1,574	443	-	-
売上原価	1,920	4,098	8,698	2,461	4,872	9,818
<b>売上総利益</b>	<b>633</b>	<b>1,324</b>	<b>2,699</b>	<b>749</b>	<b>1,828</b>	<b>3,482</b>
エンベデッドソリューション	227	487	930	241	-	-
ビジネスソリューション	222	457	1,020	335	-	-
IoT / IoE ソリューション	71	147	255	23	-	-
半導体トータルソリューション	111	231	492	149	-	-
販管費	411	886	1,982	688	1,385	2,762
<b>営業利益</b>	<b>222</b>	<b>437</b>	<b>717</b>	<b>60</b>	<b>443</b>	<b>720</b>
営業外収益	1	4	13	22	3	0
営業外費用	0	1	4	3	0	0
<b>経常利益</b>	<b>223</b>	<b>440</b>	<b>726</b>	<b>80</b>	<b>446</b>	<b>720</b>
<b>税前利益</b>	<b>223</b>	<b>440</b>	<b>706</b>	<b>179</b>	<b>506</b>	<b>780</b>
法人税等	82	153	255	21	180	277
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>140</b>	<b>286</b>	<b>450</b>	<b>158</b>	<b>326</b>	<b>503</b>



## 変動主要科目

(単位：百万円)	2017年9月期	2018年9月期		主な理由
		第1四半期	増減	
<b>資産の部</b>				
現金及び預金	1,935	2,518	582	リーフねっとの完全子会社化によるもの
のれん	100	1,254	1,154	リーフねっとの完全子会社化によるもの
投資その他の資産	841	1,145	304	本社移転に伴う敷金の発生
<b>負債の部</b>				
社債	410	750	340	
役員退職慰労引当金	92	329	237	リーフねっとの完全子会社化によるもの



## 2. 重点施策 (<http://pci-h.net/>)

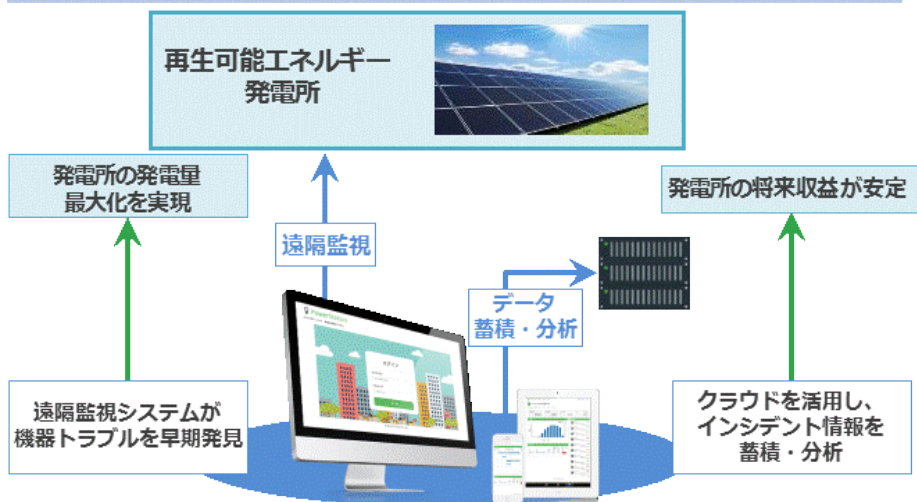




## 「Power Station」

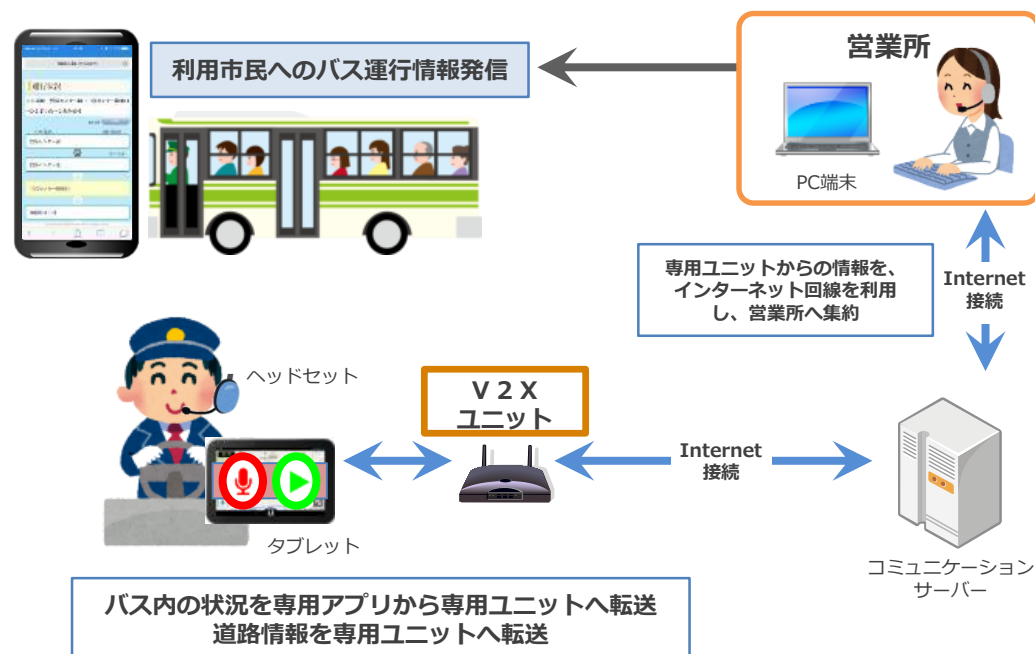
再生可能エネルギー発電所の運用・維持管理業務（O & M業務）を支える統合管理システム。当社のIoT技術の活用によりした入手したさまざまな情報を収集・分析を行い、機器トラブルの早期発見、発電量の最大化を実現。

### Power Stationを用いた再生可能エネルギー発電所運営の仕組み



## 「バスロケーションシステム」

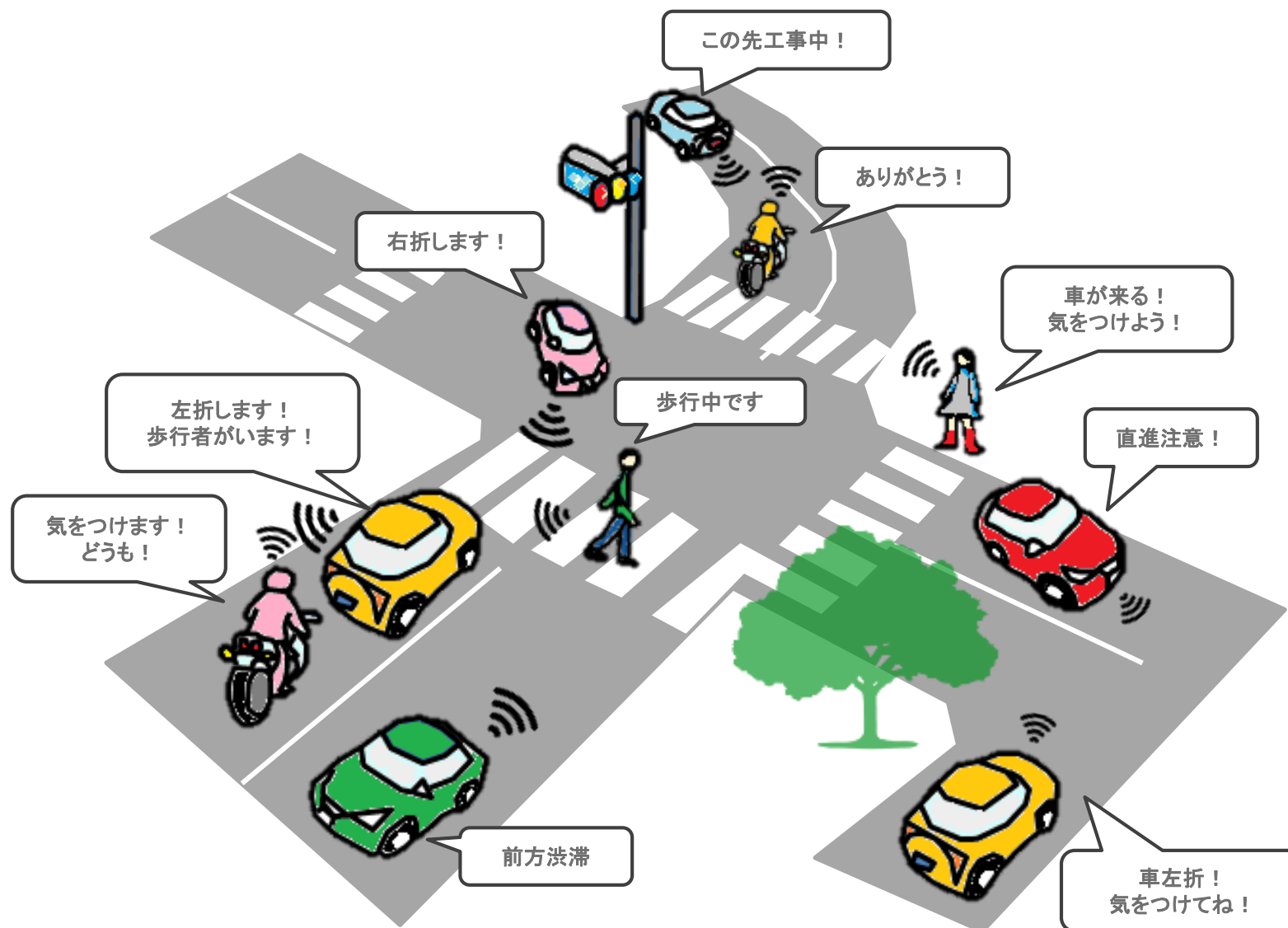
2017年4月1日 神戸市バス全路線にてサービス開始



## V2X (Vehicle to X) : 車車間通信

V2Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は **V2Xユニットのソフトウェア開発**と **V2Xを活用した新サービスの提案**を実施。





ヒトとあらゆるモノを結びつける  
IoT時代に最適な  
コミュニケーションツール

# A-ya



## 特徴

- BLE技術を使い、低消費電力で稼働します。
- 双方向通信を実現。
- 出力調整により有効通信範囲を可変できます。
- ビッグデータの収集ポイントとして活用可能。
- ヒト側、モノ側それぞれにSDKを準備。
- 最少開発期間で既存システムに組み込み可能です。



いまや多くの人が持つスマートフォンをヒト側のインターフェイスとして位置付け、身の回りにある様々な機器と能動的にコミュニケーションをとることで、便利で快適な日常を創りだすことを目的に開発されたのが、『A-ya』です。

## 活用事例



**①通常時**  
サインボードにあらかじめ保存されているコンテンツを順次表示



**②オーディエンス接近時**  
A-yaアプリをインストールしたスマートフォンなどの端末が接近すると、興味リストに応じて、サインボードへの表示内容を変更。



**④ボタンをポン**  
気になる情報はA-yaボタンで。URLをスマートフォンに送信

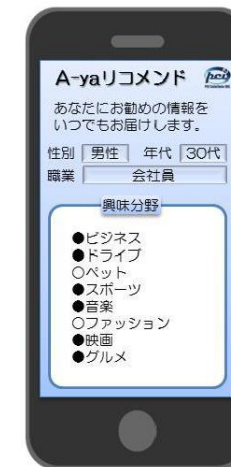


**⑤情報表示**  
URLタップで、目的の情報ページ（ランディングページ）を表示



**③スマホPush**  
サインボードに興味ある情報が表示されていることを、スマートフォンにPush通知

初期設定画面例



※画面は一例です。デザインや興味分野はカスタマイズ可能です。



# 『こことろ』アプリを利用したエンタテインメント

☆AR/VRを活用したエンタテインメントアプリ『こことろ』

👉 京都府と京都府観光連盟を中心とした位置情報活用アプリ



設定ポイントで撮影

AR画像の表示 & 記念撮影が可能！



# 情報セキュリティ製品『AppGuard®』の取り扱い開始

IoT/IoE社会のサイバーセキュリティ技術の向上のみならず、セキュアなコミュニケーション環境の提供による「安心・安全・豊かな社会の実現」への貢献を目指し、株式会社Blue Planet-worksへ出資

## 「AppGuard®」テクノロジーについて

### <特徴>

- ① 未知のマルウェアをブロック
- ② 完全防御
- ③ 18年以上破られたことのない実績

### <採用実績>

- ① 米国・州政府関連・・・アメリカ合衆国国土安全保障省、アメリカ連邦航空局
- ② 米軍及び特殊任務関連・・・アメリカ国防総省、米国防省 その他、米国情報機関等

### <顧問> (敬称略)

黒川 清 (政策研究大学院大学名誉教授)

村井 純 (慶應義塾大学環境情報学部長・教授)

出井 伸之 (クオンタムリーブ株式会社 代表取締役)

※ 当社は、Blue Planet-works社製品「AppGuard®」の取り扱いを開始し、IoT/IoE社会における情報セキュリティ分野の充実を図る

【主要株主】 ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、PCIホールディングス株式会社、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー (JTB)、吉本興業株式会社、他





### 3. 中期ターゲットと株主還元方針 (<http://pci-h.net/>)

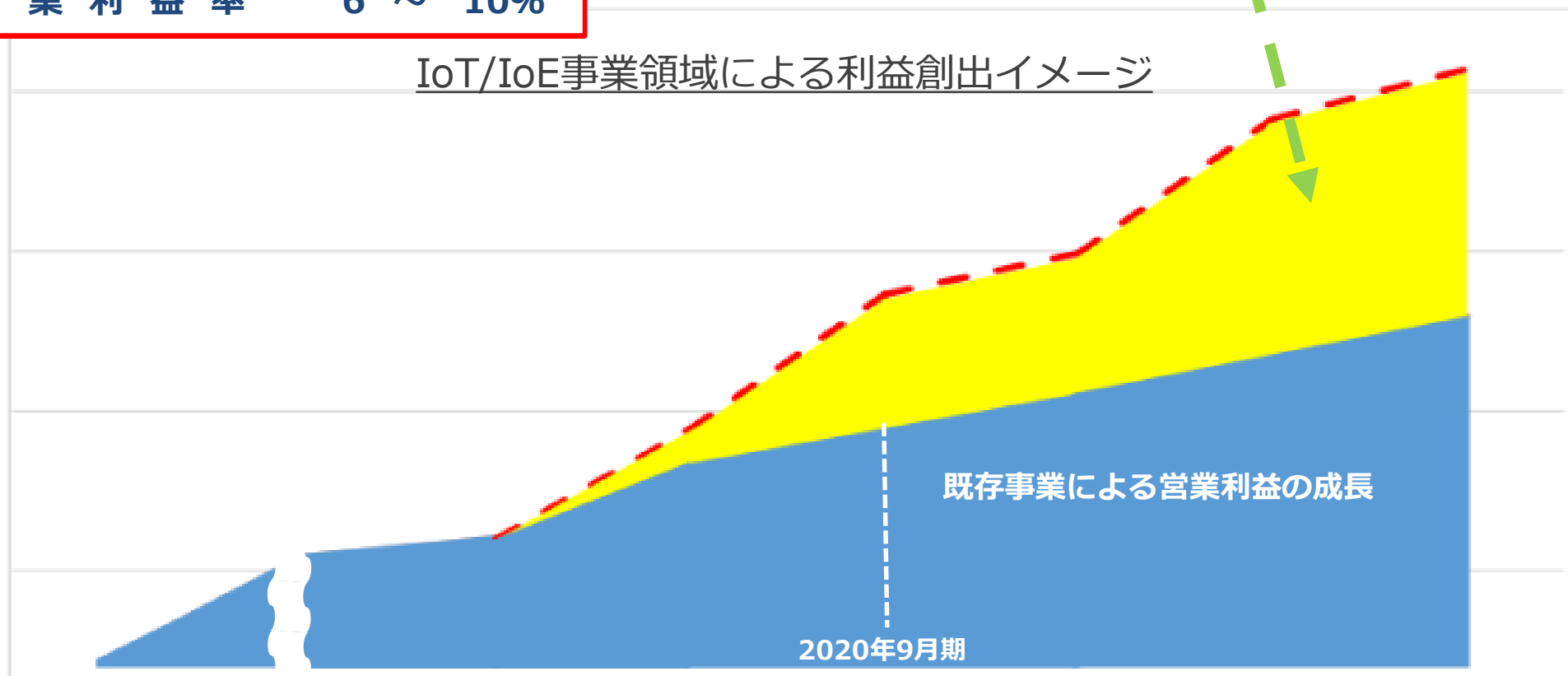


## 中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域  
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)  
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用、デジタルサイネージ等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。



## 株主還元方針

**安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上**  
**[連結配当性向：30%～50%を目安とする]**

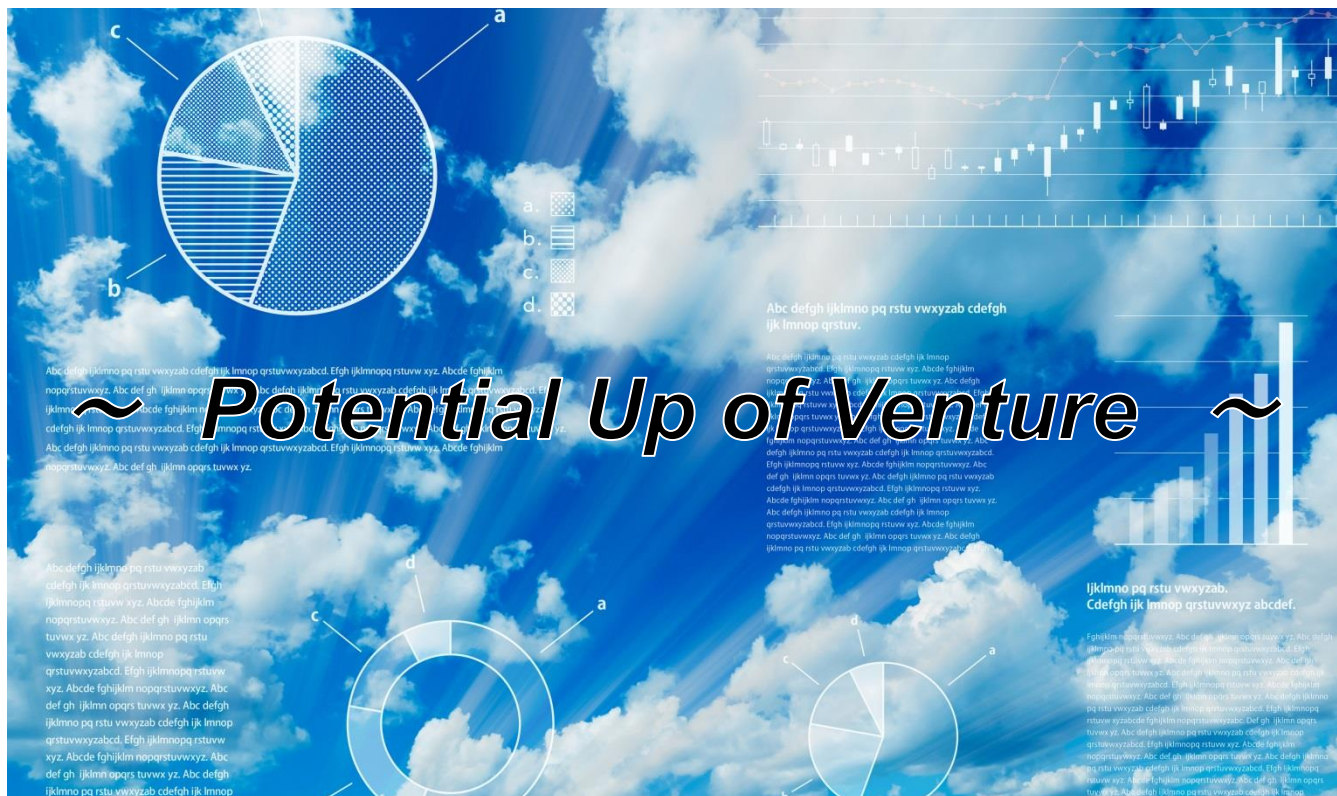
## 配当推移

	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	50円 (普通配：50円)
配当性向	—	—	34.0%	42.1%	41.7%	37.6%

(注) 平成27年3月23日付で普通株式1株につき100株、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
 上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。



# 4. 過年度実績 (<http://www.pci-h.co.jp/ir/index.html>)



# (1) 連結損益計算書

(百万円)	2016年9月期				2017年9月期			
	上期	3Q	4Q	通期	上期	3Q	4Q	通期
<b>売上高</b>	<b>4,262</b>	<b>2,005</b>	<b>2,236</b>	<b>8,504</b>	<b>5,422</b>	<b>2,779</b>	<b>3,195</b>	<b>11,397</b>
エンベデッドソリューション	2,000	980	1,129	4,111	2,054	1,092	1,159	4,305
ビジネスソリューション	1,834	872	913	3,619	2,200	1,160	1,452	4,814
IoT / IoE ソリューション	427	152	193	773	409	131	162	703
半導体トータルソリューション	-	-	-	-	758	395	420	1,574
売上原価	3,228	1,508	1,786	6,523	4,098	2,136	2,463	8,698
<b>売上総利益</b>	<b>1,033</b>	<b>497</b>	<b>449</b>	<b>1,981</b>	<b>1,324</b>	<b>642</b>	<b>732</b>	<b>2,699</b>
エンベデッドソリューション	463	225	212	901	487	225	218	930
ビジネスソリューション	426	220	184	831	457	233	328	1,020
IoT / IoE ソリューション	143	51	52	247	147	43	63	255
半導体トータルソリューション	-	-	-	-	231	140	121	492
販管費	661	384	345	1,391	886	491	604	1,982
<b>営業利益</b>	<b>372</b>	<b>112</b>	<b>104</b>	<b>590</b>	<b>437</b>	<b>151</b>	<b>128</b>	<b>717</b>
営業外収益	12	2	1	16	4	1	7	13
営業外費用	2	1	11	15	1	1	2	4
<b>経常利益</b>	<b>382</b>	<b>114</b>	<b>95</b>	<b>591</b>	<b>440</b>	<b>151</b>	<b>133</b>	<b>726</b>
<b>税前利益</b>	<b>382</b>	<b>114</b>	<b>95</b>	<b>591</b>	<b>440</b>	<b>151</b>	<b>113</b>	<b>706</b>
法人税等	119	40	28	188	153	54	47	255
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>262</b>	<b>73</b>	<b>66</b>	<b>403</b>	<b>286</b>	<b>97</b>	<b>66</b>	<b>450</b>

※半導体トータルソリューション事業については、2017年9月期より追加された区分であるため、前期実績の内訳は掲載せず





## (2) 連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2016年9月期	2017年9月期
<b>流動資産</b>	<b>3,898</b>	<b>5,395</b>
現預金	2,239	1,935
売上債権	1,419	2,862
その他	239	597
<b>固定資産</b>	<b>480</b>	<b>1,134</b>
のれん	7	100
投資有価証券	195	534
その他	277	500
<b>資産合計</b>	<b>4,378</b>	<b>6,530</b>
<b>流動負債</b>	<b>1,119</b>	<b>2,563</b>
仕入債務	282	695
借入・社債	-	254
その他	837	1,613
<b>固定負債</b>	<b>103</b>	<b>532</b>
社債	-	290
退職給付に係る負債	4	126
その他	98	116
<b>負債合計</b>	<b>1,222</b>	<b>3,096</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,155</b>	<b>3,433</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,378</b>	<b>6,530</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2016年9月期	2017年9月期
<b>営業活動によるCF</b>	<b>334</b>	<b>645</b>
税金等調整前当期純利益	591	706
減価償却費	34	49
のれん償却額	3	16
売上債権の増減額	-149	-468
たな卸資産の増減額	1	144
仕入債務の増減額	51	68
その他	-199	128
<b>投資活動によるCF</b>	<b>-212</b>	<b>-616</b>
有形固定資産の取得	-3	-23
投資有価証券の取得	-185	-271
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	-336
その他	-23	14
<b>財務活動によるCF</b>	<b>628</b>	<b>-403</b>
長短借入金及び社債の純増減額	-	-223
配当金の支払額	-133	-186
その他	761	7



## 5. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**



## 企業理念

我々は、お客様の満足を通じて全社員の幸せを追求し、  
そして社会の発展に貢献します。

## 行動方針

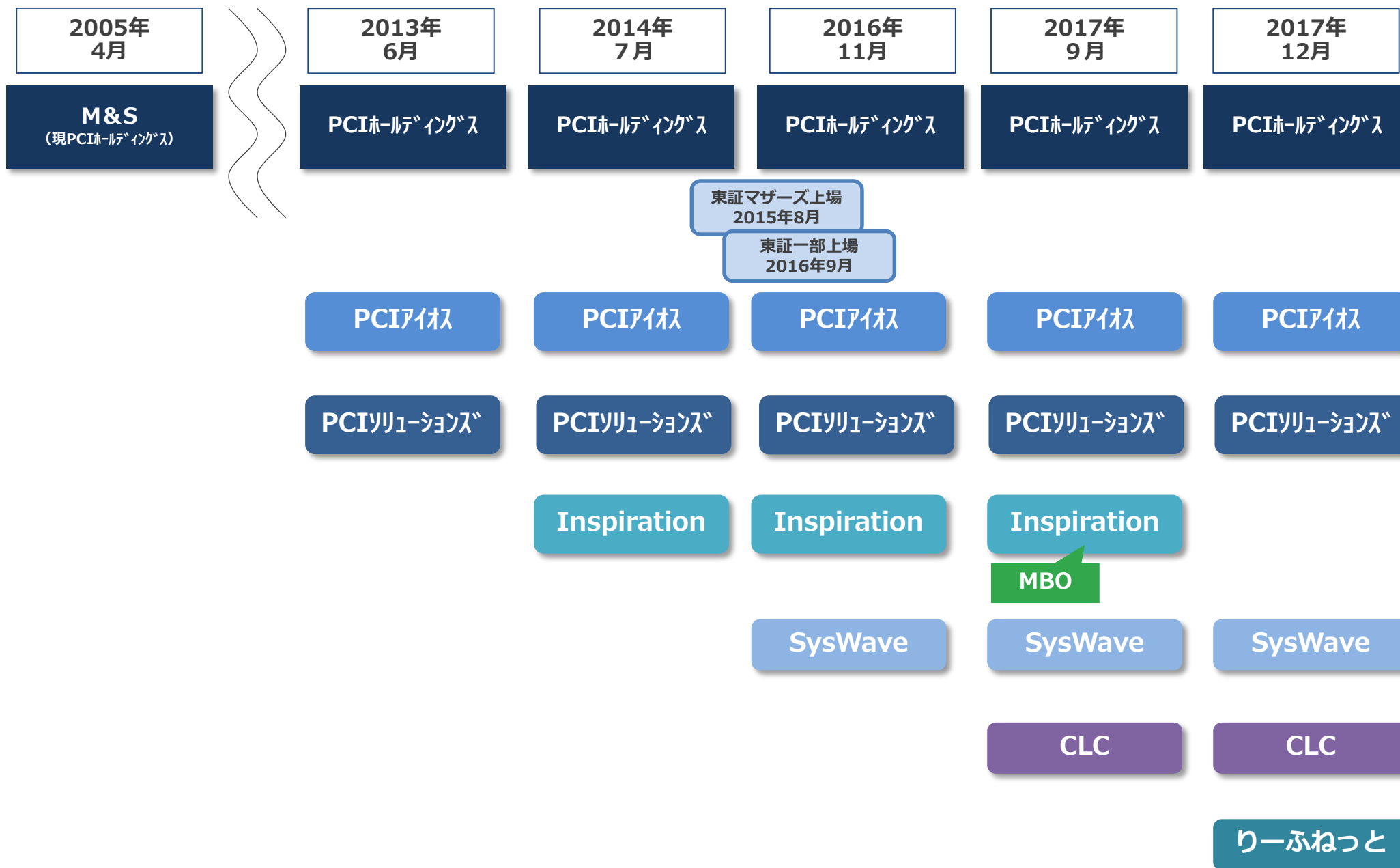
- 安定した事業成長を実現します
- ユーザに適したソリューションを提供します
- 応援して頂ける企業を目指します
- 積極的（**P**）に変化（**C**）を求め、革新（**I**）します
- 全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を目指します

(注) **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate



# 会社の事業内容について ～ グループ沿革 ～

概要



## PCIソリューションズ

エンベデッド  
ソリューション

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション

### 当社グループの連結売上高の約90%を占めるソフトウェア開発事業会社

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に応えている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IoEソリューションへも展開している。

## PCIアイオス

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション

### オープンソースソフトウェアを活用した、短期間且つ高品質な開発を得意とするソフトウェア開発事業会社。

オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

## シスウェーブ

半導体トータル  
ソリューション

### LSIの世界を支えるテストエンジニア企業

テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスとして、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

## シー・エル・シー

ビジネス  
ソリューション

### ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進。

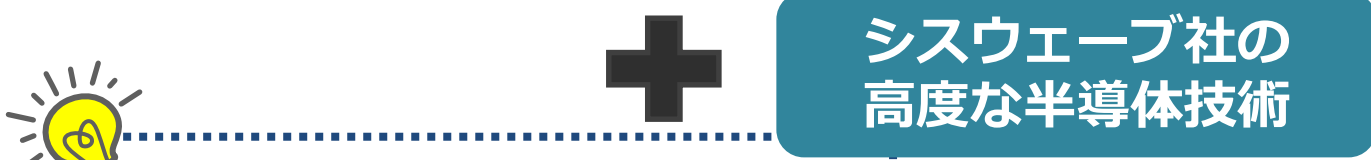
## りーふねっと

IoT/IoE  
ソリューション

### お客様が感動するサービスをワンストップで企画、制作、運営まで提供。モバイルに強みを持つ

企業向けスマートフォンサービスの企画・コンサルティング・構築サービス、映画館向けチケット予約・販売・発券システムの構築等のトータルソリューションを提供。2012年には総務省より電話に関する事業者識別番号（0067）の資格を獲得し、通信事業者としての事業も展開。





さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。  
参入障壁は極めて高い。

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。  
参入障壁は高い。

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。  
参入障壁は高くない。



**IoT / IoEソリューション**

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。
- 位置情報の活用、AR/VR、通信事業、Connected Worldへの貢献

**エンベッドソリューション**

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

**ビジネスソリューション**

- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

**成長分野**

**収益基盤 (安定成長)**

・

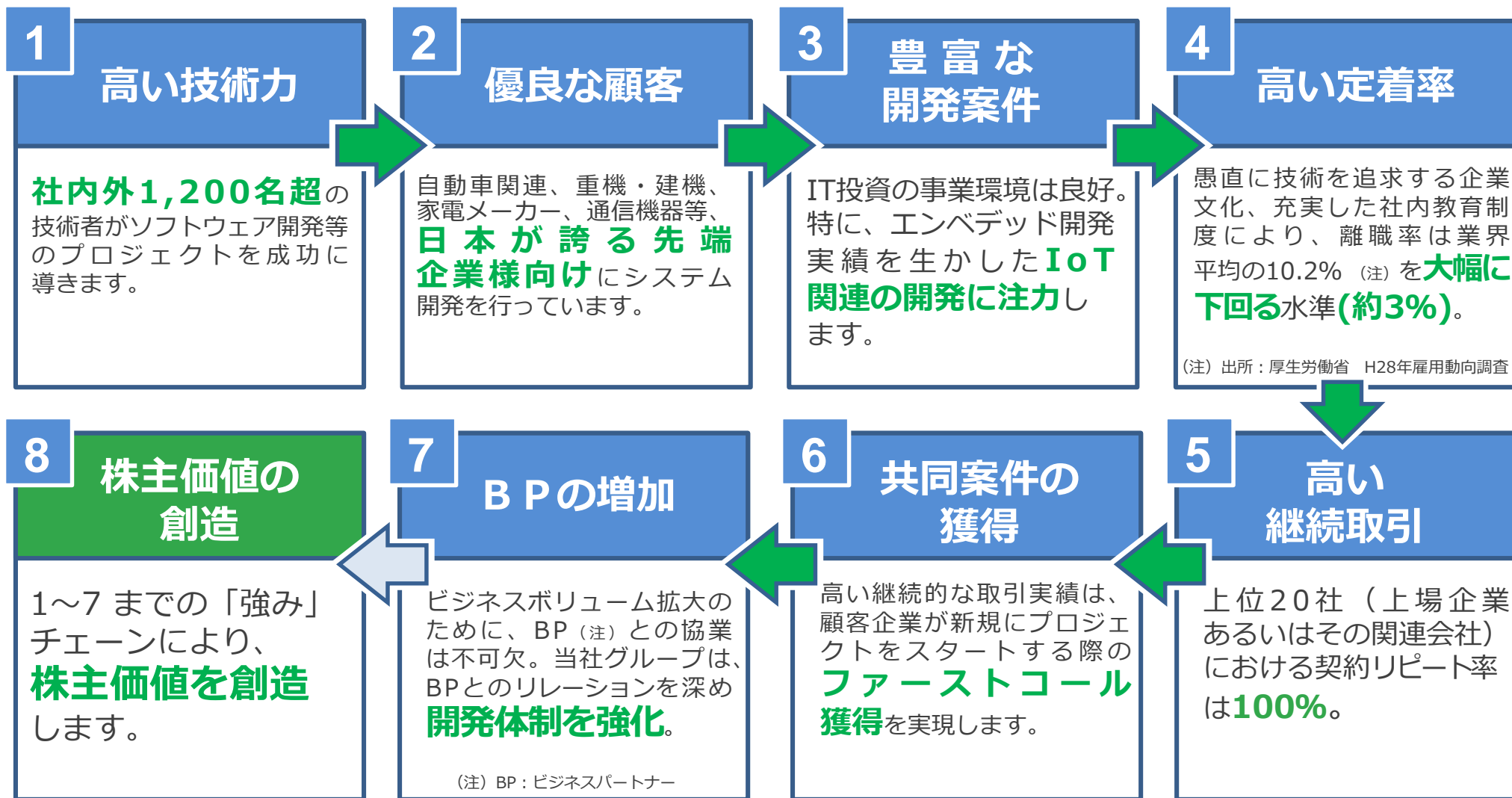
**高い技術力の源泉**

**PCIホールディングスの事業基盤**

**技術力** 「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組込み・半導体」

**知的資本** 「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」



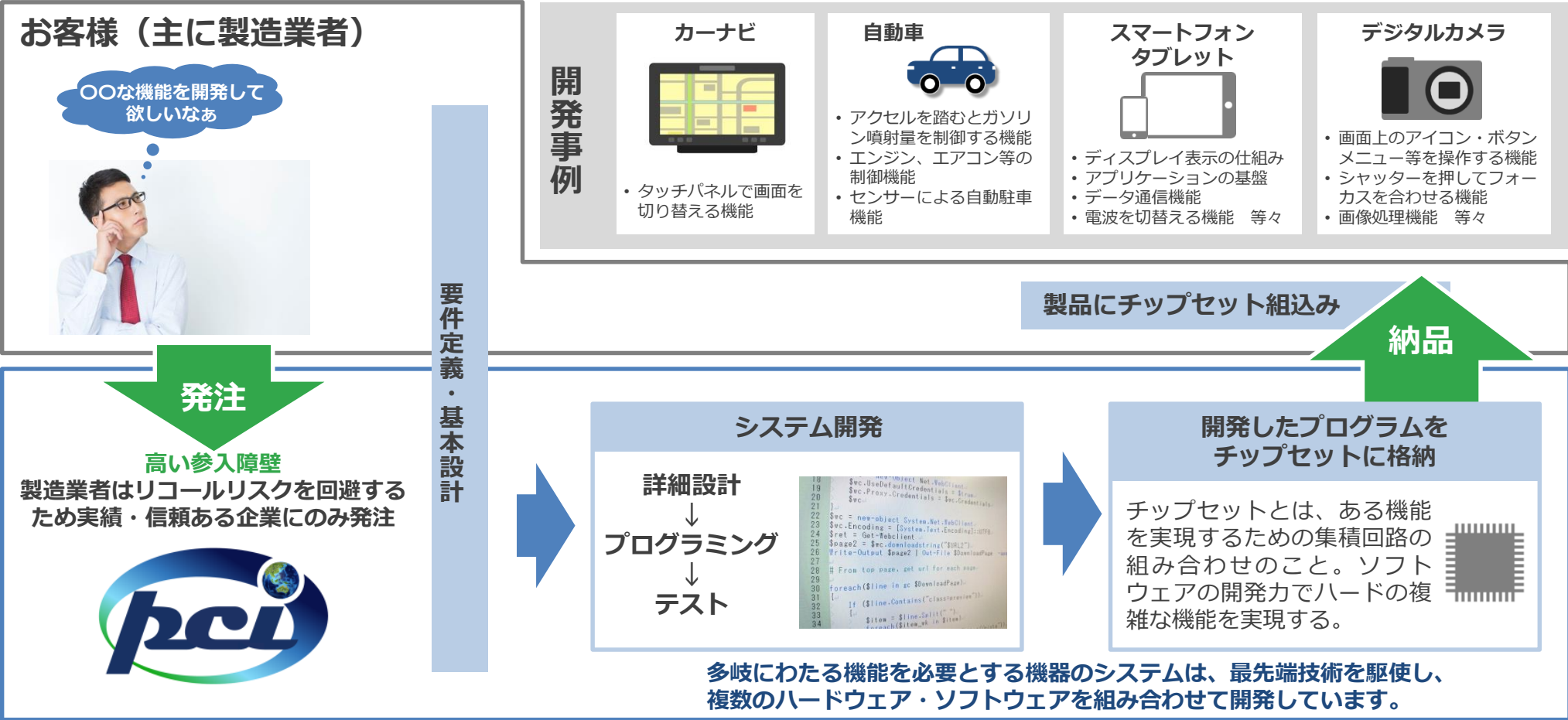


(注) 各データは、2017年9月期末時点のもの





- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。



※上記は一例になります。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。





## IoT : Internet of Things

コンピューター等の情報・通信機器だけでなく、センサーや家電など様々な「モノ」をインターネットに接続させ、通信させることで、遠隔計測、自動認識や制御等を行うこと。

## IoE : Internet of Everything

IoTよりも広い概念。ヒト・モノ・プロセス・データ等がインターネットにつながり、相互に通信が可能となる技術や状態、仕組み。

## ECU : Electronic Control Unit

自動車の電子制御装置。

## AUTOSAR : AUTomotive Open System ARchitecture

車載ソフトウェアプラットフォームの仕様の名称及び自動車業界のグローバル開発パートナーシップ。

## オープンソースソフトウェア : Open-Source Software

ソフトウェアの設計図にあたるソースコードをインターネット等により無償で公開し、誰でもそのソフトウェアの改良、再配布が行えるソフトウェア。

## ファームウェア : Firmware

ハードウェアに組み込まれて動作する制御用のプログラム。



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 グループ戦略室  
E-mail [ir@pci-h.co.jp](mailto:ir@pci-h.co.jp)



